

第 20 回鴨叡会・生命分子化学科セミナー報告書

2014 年 3 月 13 日（木）午後 3 時 30 分から、京都府立大学附属図書館 3 階視聴覚室にて、神谷成敏先生（阪大蛋白研）による講演（演題名：コンピュータによる抗原-抗体間の複合体構造予測法の開発）が行われた。生命分子化学科の学部学生、及び大学院生を中心に、約 20 名が熱心に聴講した。講演では、分子動力学シミュレーションの説明から、抗原-抗体間の複合体構造予測に至る事例にいたるまで、わかりやすくお話しいただいた。抗原-抗体複合体の結晶構造があるような系（答えがあるような系）では、同手法で、十分に予測可能であることが示され、今後、複合体構造未知の抗原のエピトープの予測や、同結合阻害剤のデザインに役立てられそうな研究成果であった。なお生命分子化学科 3 回生からも活発に質問があり、盛況のうちに午後 4 時 40 分に同セミナーは終了した。

